

科目コード	2694824	【授業内容】 本講義では「アニマルセラピー（動物介在介入：AAI）」について、その歴史的背景から最新の科学的根拠、動物福祉までを包括的に学びます。「癒やし」の枠を超え、医療・福祉・教育の現場で動物が果たす役割を、獣医学および行動学等の視点から結集し、専門家ですえもし得ないことを、物言わない生き物がそばにすることで実現できた、奇跡的な犬の効果の事例なども共有します。 日本における導入事例や多職種連携での安全管理のガイドラインに加え、「読書犬」や「付添犬」といった最新の展開についても詳説します。人間側に偏った考えだけでなく、関わる動物の福祉（ウェルフェア）はもちろん、幸せ（ウェルビーイング）を同時に実現するための課題を共有します。
学習センター	岐阜学習センター	
学習センターコード	21A	
クラスコード	K	
科目名	アニマルセラピー概論	
科目区分	専門科目：心理と教育	【到達目標】 1. AAIの定義を正しく理解し、各現場における適切な運用形態のために必要な内容を説明できる。 2. 人と動物の相互作用がもたらす生理的・心理的効果について、オキシトシン等の科学的根拠に基づいて解説できる。 3. 動物福祉（アニマルウェルフェア）の観点から、参加動物の適性、セッション内でのストレスサインを理解し、倫理的配慮に基づいた活動を説明できる。 4. 「One Welfare（人・動物・環境の持続的な幸せ）」の視点をもち、自身の専門領域や地域社会においてAAIの実装可能性を検討できる。 【授業テーマ】 第1回 人と動物の関係性とAAIの定義・歴史 第2回 AAIの現場と安全管理・チーム医療の実践 第3回 犬の行動特性とセラピードッグの選抜・適性 第4回 アニマルセラピーの科学的根拠（生理・心理的効果） 第5回 教育現場への応用：読書犬（R.E.A.D.プログラム） 第6回 動物の幸せを考える：動物福祉とエシカルな視点 第7回 司法・医療への展開：付添犬・コートハウズドッグ 第8回 人と動物のウェルビーイング：One Healthの未来 【学生へのメッセージ】 「動物に癒される」。この感覚の裏側には、長年築いてきた絆と、緻密な生物学的メカニズムが隠されています。 本講義を通じて、動物を「利用」ではなく「共に社会を良くするパートナー」として捉えてみましょう。動物と人が共に健やかに暮らせる社会をさまざまな背景や経緯を持つみなさまがそれぞれイメージしてみてください。 【受講前の準備学習等】 多くの人がなぜ、ペットと暮らしているのでしょうか。しかしながら、先進国中、日本はペットの飼育率が欧米に比べてどんどん減っています。その理由や背景についてぜひ考えてみてください。 参考：https://petfood.or.jp/pdf/dictionary/webcatalog.pdf 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの採点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日にプリントまたは、事前にオンラインリンクをまたはPDFデータを配付します。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・動物がくれる力（太田敦子／南波書店／¥902／ISBN=9784004313410） ・いっしょにいるよ 子どもと教科に出た犬（須井学／小学館／¥1,540／ISBN=9784093887533）
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ヨシダ ヒロコ 吉田 尚子 （公任）日本動物病院協会理事／獣医師	
日程 実施時間	12月19日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月20日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2024-10-15 15:55～16:40	授業概要
実施会場	岐阜学習センター	